

課題No. 3	課題名	担い手の確保・育成による果樹産地の維持発展
計画期間	令和3年度～令和4年度	
担当チーム員	◎鈴木秀人，佐藤正広，小室博義，森谷和幸，高橋真紀	
対象名及び対象数	◎JAみやぎ仙南角田梨部会 2名 ◎JAみやぎ仙南蔵王なし部会 3人 ◎若手果樹生産者8人 白石市2人，蔵王町4人，大河原町1人，丸森町1人 令和3年の新規果樹後継者 蔵王町4人，角田市1人	

1

プロジェクト課題No.3 担い手の確保・育成による果樹産地の維持発展

課題の背景

- 仙南地域は果樹生産が盛んで、県内生産の半数を占め、日本なしは、県内一の産地となっている。
- 果樹生産者の高齢化や担い手不足など、産地の維持が困難である。
- 後継者不在の果樹園における円滑な事業継承などの体制整備や、後継者として果樹栽培を始める若手生産者の育成が課題となっている。



蔵王梨選果場



幸水



蔵王はるか

2

プロジェクト課題No.3 担い手の確保・育成による果樹産地の維持発展

課題の背景



廃園化される果樹園（蔵王町塩沢なし団地）

3

プロジェクト課題No.3 担い手の確保・育成による果樹産地の維持発展

活動項目

- 担い手確保に向けた検討
 - 園地の維持管理に関する農家意向調査
（令和3年4月の凍霜害被害調査を含む）
 - 市町やJA果樹部会との連携
 - 若手生産者の育成に取り組む先進地事例調査
- 若手果樹生産者における栽培技術の習得，向上
 - 適正な栽培技術に関する現地検討会の実施
 - 優良な果樹生産農家への視察研修
 - 「梨病害防除ナビゲーション」（千葉県）による防除情報提供

4

プロジェクト課題No.3 担い手の確保・育成による果樹産地の維持発展

成果指標

- 果樹産地の維持に向けた生産者，JA，市町が一体となった体制づくり
- 若手果樹生産者における基礎的な知識と技術の習得と農家同士の連携構築

5

プロジェクト課題No.3 担い手の確保・育成による果樹産地の維持発展

活動内容①

●園地の維持管理に関する農家意向調査

- JAみやぎ仙南角田地区梨部会10戸，蔵王地区なし部会70戸を対象に聞き取り調査を市町，JAと協力して実施
- 調査項目：凍霜被害状況，防霜対策，今後の生産意向など
- 調査結果：市町，JA，生産者に報告

概要（集計途中）

- 凍霜害ではなし「新高」の減収率が大きく，防霜対策では防止剤の導入希望が多かった。
- 果樹経営の継続には老朽化した樹の改植や手入れが必要とされ，担い手の継承でも改植が必要である。
- 果樹経営を継続する条件は，労働力，ジョイント栽培，古くなった樹の改植，顧客の存在，価格（800円/kg以上）などがあつた。

6

プロジェクト課題No.3 担い手の確保・育成による果樹産地の維持発展

活動内容②

● 現地検討会の実施

J Aみやぎ仙南白石地区果樹部会現地検討会（3回）



各園地を巡回して、ベテランと若手の技術交流

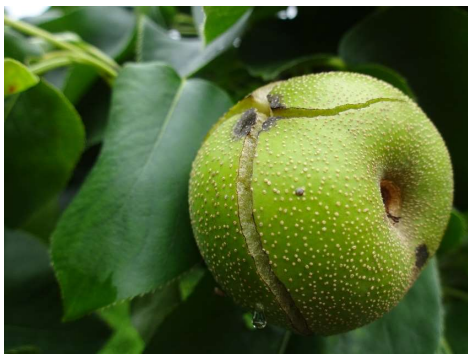
7

プロジェクト課題No.3 担い手の確保・育成による果樹産地の維持発展

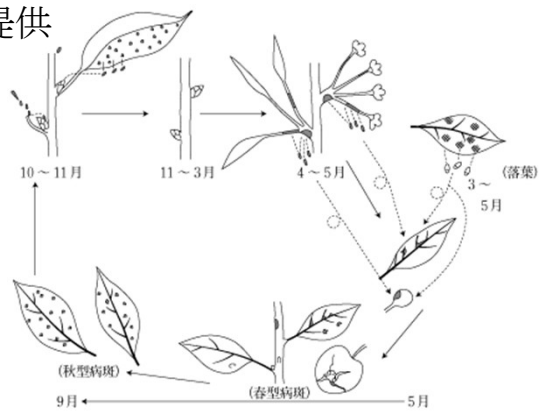
活動内容③

● なし黒星病防除巡回

千葉県ナシ病害防除支援情報システム「梨病害防除ナビゲーション」による巡回，防除情報の提供



なし黒星病の果実（前年）

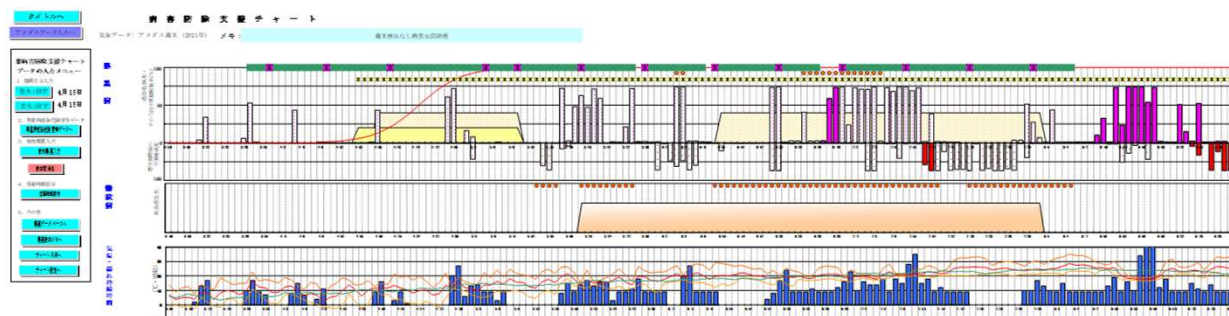


黒星病の生活史（農業技術大系より）

プロジェクト課題No.3 担い手の確保・育成による果樹産地の維持発展

●なし黒星病防除巡回

「梨病害防除ナビゲーション」とは



※令和3年8月の低温長雨→感染危険度が高い→追加防除の実施
→黒星病発生が低く抑えられた。

9

プロジェクト課題No.3 担い手の確保・育成による果樹産地の維持発展

課題と今後の活動

課題

- 担い手の育成・確保
- 若手果樹生産者の技術交流及び栽培技術の習得，向上

今後の活動

- 意向調査結果を取りまとめ，市町，JAと情報共有，生産者への報告
- 研修生の受入れに関する支援
- 老朽化した園地の改植に関する支援
- 若手生産者の育成に取り組む先進地事例調査の実施
- 若手果樹生産者の技術交流会，先進地視察の実施

10